

2010.2.15

申し入れ書

二番底の不安も漂う昨今の経済情勢下で2010春闘を迎えるにあたり、内部留保を取り崩して大幅賃上げを勝ち取ることが、日本の景気回復を軌道に乗せ、大企業の社会的責務を果たすことに繋がるとの思いを強くします。

2010春闘の本番を迎えるにあたり、第276回中央委員会に下記意見・要望の反映よろしくお願ひします。

記

1) 2010年総合労働条件改善闘争にたいする期待は大きい

2月17日開催される第276回中央委員会で議論される議題で

昨年の「春闘逆提案」の撤回は勿論のこと、私たちが実施したアンケート結果にも、大幅賃上げ要求が強く現れています。(添付資料参照)

第276回中央委員会議案書で期待が持てる議案として

- (1)時間外割増率の改訂(電機連合統一目標基準)
- (2)有給休暇「切捨てゼロ」に向け、有給休暇5日間の1時間単位の取得
- (3)2009年度緊急費用削減施策の期限通りの解除

等々、是非実現して欲しい期待の持てる要求が多々あります。

期待に応えて是非今春闘で勝ち取って頂きたい。

一方、会社が長年実施してきた福利厚生の大幅な後退も見受けられます。

NECでは、今まで幹部をはじめとする貴重な人材を病気等で失っていました。

今回の「がん検診」の受診は自己責任とし、費用の3000円は自己負担。

自己負担がかかるものの毎年受診が可能という点は良いのですが、従来通り無料、もしくは可能な限り無料に近づけられるようにしてほしい。

また、従業員の健康管理面から従来通りがん検診データも合わせて管理してほしい。

2) 労働組合として、会社の内部留保の実態を組合員に明らかにして、今春闘の闘いに展望を
ここ十数年、日本の大企業は利益を内部留保という形で貯め続けてきました。その結果、私たちの
収入は減り続けて消費購買力が落ち込み景気回復の足を引っ張ってきました。…添付電機懇春闘提言参照
「大幅な賃上げを」という労働組合の要求は今の日本の景気回復にも直結する「大儀ある要求」です。
労働組合としても会社の内部留保の実態を組合員に明らかにして、「大儀ある要求」であることを
組合員に明らかにして、今春闘で堂々と会社に要求を突きつけて下さい。

3) NECの職場から違法行為の根絶を徹底願います。

全社で徹底した経費節減活動が展開されています。

経費節減を口実にしたサービス残業が発生しないよう、労働組合として監視を強めて下さい。

特に、Vワーク適用者は超過申請がしづらい状況(雰囲気含め)、担当者及び非Vワーク適用者が残業規制により早く帰る分、Vワーク適用者に作業負荷がかかり、その分、実質のサービス残業になることが懸念されます。

職場実態の監視強化及び超過申請はVワーク適用者が直接、直属上司に申請できるよう制度の見直しをお願いします。

以上

研究企画部 橋場 伸一 第一システムソフトウェア事業部 菅 和則

医療ソリューション事業部 小山 光男

システム・サービス事業本部計画部 九野健三 製・装ソリューション事業本部計画部 山崎栄一